



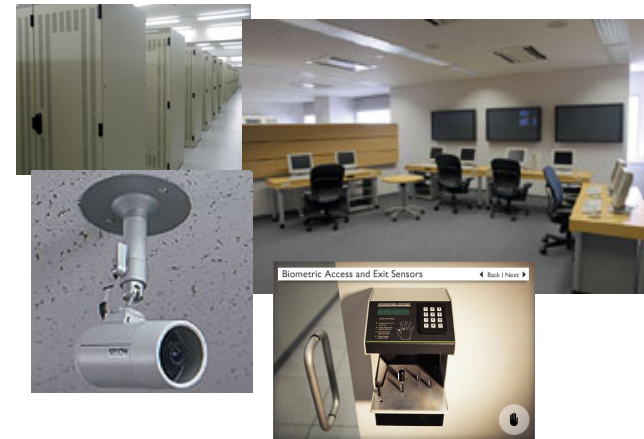
よりよいサービス提供のために

メールメンバーズサービスは、万全の体制に守られています。
たとえば・・・

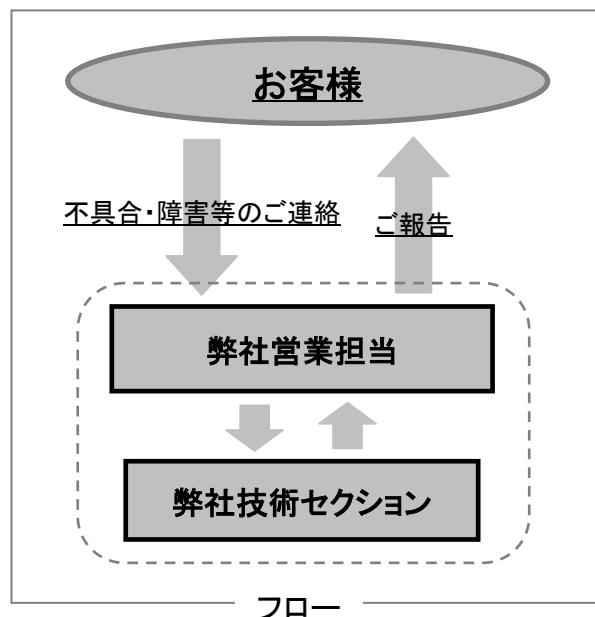
サーバーは、ソフトバンクIDC(旧・日本テレコムIDC)内に置かれ、24時間有人体制で監視されています。そこではデータセンターへの接近者の監視、セキュリティ監視と、様々な事故管理が行われています。

遠隔操作のビデオ監視システムがデータセンターとその周辺を24時間365日守り、入退室には、掌紋を照合するバイOMETリックセンサーによる承認が必要です。

また、インターネットは便利な半面、危険に満ちています。昨今あとを絶たないウィルスや脅威に備えて、ファイアウォールを装備し、安全なアクセスを確保しています。



社内においても、技術者が随時トラフィックや配信状況に目を配らせています。万一、何らかの不具合や障害が発生した際には、営業担当等と綿密な連携をとりつつ、迅速な対応を致します。お客様から、障害連絡等を受けた場合には、図のような流れで対応致します。



もし、トラブルが起こったら？

まず不具合等のご連絡が、お客様より弊社の営業担当に入ります。

営業担当はただちに弊社技術セクションの担当者にその内容を伝え、技術担当者が原因と対策の割り出しにかかります。

状況によっては、少しお時間をいただくこともありますが、そのような場合でも営業担当は、お客様の不安を少しでも解消すべく、逐次経過報告をさせていただくよう図ります。

技術担当者から、原因・対策が判明した時点で、営業担当に伝えられ、営業担当はその内容をわかりやすくお客様にご報告します。

このような一連の流れは、すべて障害対応記録として蓄積され、事態の再発を防ぐための大切な財産となります。

何かご不便・不具合等、お気づきの点などありましたら、ご遠慮なくお問合せ下さい。



顧客情報取扱について

Q: 会員の情報は流出しませんか？

A: 絶対にしません。

外部に漏れる原因として考えられるものとしては、

①サーバのセキュリティ

②社内管理体制の甘さ

が挙げられます。

まず①につきましては、セキュリティ管理のみを専門会社に委託し、重要なセキュリティホールが見つかるとうちに修正ソフトによりカバーされるようになっております。

さらに、サーバ内にも万が一の場合に備え侵入探知プログラムを組んでおり、不正侵入に対してはプログラムがそれを探知し、担当の携帯にメールが届くようになっております。

つぎに②についてですが、サーバへのアクセスは、技術の最高責任者のみに限られ、その責任者の行動も、外部のセキュリティ専門会社によって監視される体制になっております。その他のスタッフは、直接個人情報には触れない作業にのみ関与することが許されております。

以上のように、物理的、人的なセキュリティ体制によって、サービスは守られております。

Q: サーバの監視体制はどうなっていますか？

A: 万全の体制です。

サーバはデータセンターに設置され、24時間有人監視が行われております。サーバのある場所には、指紋認証等の厳重な手続きを通過した者のみが入ることが出来、入退室履歴も厳格に行われて、何時何分から何時何分まで、誰が入退室したか、という内容が記録されます。

また、物理的には、サーバに死活信号を数分おきに自動的に送り、15分間サーバからの応答がない場合には、自動的に再起動処置がほどこされる仕組みとなっております。

なお、データセンターは万が一の大震災に備え、新耐震設計法に基づいて設計されており、震度7レベルの地震にも耐えられる構造となっております。消火システムには窒素系ガスを使用しており、火災が発生して消火システムが作動してもお客様のシステムが水に浸かることはありません。

Q: サーバの詳細情報を教えてください。

A: 次の通りになっております。

まずスペックは、メモリ2GB、CPUは1.86GHzです。

OSはReadHat Linux、MTAは携帯配信専用エンジンを利用しております。

設置場所は、ソフトバンクIDC東京インターネットソリューションセンターになります。

回線は東京NOC直結で1.3Gbpsです。



株式会社エフトゥワン

〒104-0061 東京都中央区銀座1-13-10 3F

TEL) 03-3562-7911

FAX) 03-3562-7912

E-mail) info@mmbs.jp



A580016(01)